

貯槽建設技術を通じてカーボンニュートラルへ向けた貢献をするとともに 自社の一層の発展を目指します。

エネルギーを貯蔵し有効活用する貯槽の提供と、
その技術を活用した洋上風力発電向け基礎構造物
やカーボンニュートラルに供する貯槽の提供

エネルギーはこれまでも石炭、石油、天然ガスと変遷してきました。当社は創業以来100年にわたりこの変化に適応した貯槽を提供してまいりました。

必要なエネルギー備蓄に供するための貯槽、エネルギー供給量と使用量の差を吸収するための貯槽、製造工程で副産物として発生する可燃ガスを回収するための貯槽、これらの存在は無駄のない持続可能な社会へ大いに貢献するものです。

今後もカーボンニュートラルへ向けて、エネルギーの大きな変化が予想されますが、それに適応した最適な貯槽の開発・提供を行ってまいります。また、貯槽製作で培った鋼板加工技術を活用し、洋上風力発電用基礎構造物などの加工も手掛けていくことで、カーボンニュートラルに向けて貢献してまいります。



貯槽技術を磨きエネルギーの安定供給に貢献し、環境にやさしいモノづくりに挑戦します。

- 貯槽技術を通して社会にエネルギーを安定供給するための製品を提供します。
- 洋上風力発電など自然エネルギーを活用するための製品、半製品を社会に提供します。
- 貯槽を通じて資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させます。
- 工場内天井照明のLED化（目標100%）、クレーンなど動力のインバーター化（目標100%）を通じて環境にやさしいモノづくりを行います。
なお、当社は、フランスEcovadis社※のサステナビリティ調査において、上位25%の「シルバー」評価をいただいています。
※「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4つの調査項目により企業のサステナビリティを評価している調査



ガスを貯蔵する球形タンク

化学プラント向け液化炭酸貯槽はもとよりCCS設備向け球形貯槽にも挑戦していきます。



洋上風力発電設備製造への新規参入

今後大きな需要が見込まれており、当社は基礎構造物の曲げ加工、溶接技術の向上に挑戦していきます。



有水式ガスホルダー

当社の創業時からの製品であり、現在も製鉄所でのCOガスの有効利用に活用されています。



工場の省エネ化

LED照明の導入や省エネ機器の選定を進めています。また、作業の効率化についても挑戦しています。